

# 高道

## 後期がスタート ～鍛えよう 頭・心・体～

後期益々の成長を願って、始業式では、以下のようなことを子どもたちに話しました。

前期終業式では、外側も大事ですよという話をしました。前期を振り返ってみてどうでしたか。服装、姿勢、挨拶など形はできていましたか。今日から後期がスタートします。「おっ、なんかちがうね。」と人に気づかれるくらい形にこだわった自分に挑戦してみてください。



さて、オリンピックでは日本選手が大活躍しましたが、私は30年以上前、金メダルを持たせてもらったことがあります。その人は水泳の選手でしたが、そんなありがたいことをさせてもらったのに、その人が誰だったか名前を忘れてしまいました。でも、その人が話して下さったことはしっかりと覚えていまして、今日はそのことをお話しします。

彼は、水泳部で練習を頑張っていました。授業が始まる前に何千メートルも泳ぎ、放課後も何千メートルも泳ぎますから、授業中は寝てばかりいました。校長先生がその様子を見て、これじゃいかんと思い、校長室に呼びました。そして「君は水泳を頑張っているけど、これからどうするつもりだね。」と尋ねました。彼は「はい、日本一になります。」と答えました。そこで校長先生は「そうか、日本一になるか。それじゃ君は有名になるね。ということは、あほ、ということも有名になるぞ。」と厳しく言われました。みなさん、なぜだか分かりますか。有名な選手になると、必ず、インタビューなどされますよね。その時の受け答えの仕方です。その人がどんな人か分かります。校長先生は、水泳ばかりしていてもいい選手にはなれないということを教えられたんです。それから、校長先生は、担任の先生にお願いして、彼の席を一番前にしてもらい、彼も一生懸命勉強するようにしたそうです。



彼が一生懸命勉強するようになったある日、校長先生は彼を校長室に呼びました。そして「最近勉強も頑張っているね。どうだい水泳の調子は。日本一は取れそうかい。」と尋ねられました。それに「はい、取れます。」と答えましたが、本当は自信はなかったそうです。それを見抜いた校長先生は「君は、人の役に立つことを何かやっているかい。」と尋ねられました。何も答えられない彼に「それなら何か人の役に立つことをやってみなさい。きっと自分が変わるよ。」とおっしゃいました。それから、彼は、毎朝校門の掃き掃除をすることにしました。初めは、誰も気づかなかったのですが、そのうち「あれは、水泳部の〇〇じゃない。」と気づかれるようになり、「今度日本選手権に出るそうだけどあんな人に勝ってほしいね。」「いや、あんな人だからきっと勝つよ。」などという声が彼にも聞こえてくるようになり、自分でも「ひょっとすると本当に勝てるんじゃないか。」「勝てるぞ。」と思えるようになってきたそうです。そして、自信をつけた彼は、日本選手権で優勝。オリンピック代表。そして取れたのがこの金メダルということでした。

私は、陸上、サッカー、バレーボール、ソフトボール、ハンドボールとたくさんの競技の監督をやってきました。競技はそれぞれ違って、大事なことは同じです。体だけでなく、頭と心も鍛えること。それが、大切です。私は、この人から教えていただいたことを自分も監督として教えてきました。



みなさんはどうですか。自分のめざすものに向かって、頭と心と体を鍛えていますか。

## 体験で育つ

後期がスタートしたら、子どもたちにとって楽しい行事もスタートしました。14日は1・2年生が大牟田市動物園へ見学旅行に行きました。また、4年生は学校で福祉体験活動を行いました。15日は3年生が玉名市歴史博物館や水本オレンジガーデンなどへ見学旅行に出かけました。また17日は5年生が菊池少年自然の家へ集団宿泊教室に行きました。コロナが収束し始めたときで、まだ、宿泊に伴うリスクを考え日帰りとしましたが、その分出発の時刻を早め、帰りを遅くして活動時間を長くすることで、当初行う予定だった活動をほとんど行うことができました。



机上での学習は大事ですが、「百聞は一見にしかず」と言われるように、自分で見聞きし、体験することが何より効果的です。今回体験したことは、きっと子どもたちにとって成長の糧となったことでしょう。尚、来月は6年生の修学旅行と4年生の見学旅行が予定されています。

【ニジマスをさばく5年生】

